

議会報告会実施報告書

開催日時	平成28年4月19日(火) 18時00分～19時50分		
開催場所	ゆとろ	出席者	13名
出席議員	島田副議長・古谷議員・高谷議員・秋場議員・五十嵐議員		
<p>◎島田副議長開会、挨拶</p> <p>(島田副議長) 定刻になりましたので、第7回目の議会報告会を開催させていただきます。本日、14の町内会、そして一般町民の方にも参加していただいている開催となりました。昨日と今日はゆとろで、明日は西当別コミセンで行うことになっております。既に議会報告会に参加された方は、議会報告会とは、どのようなスタイルで行われてきたのか、ご理解していただいていると思いますが、このレジュメにも書いてあるように平成25から予算審議がある3月定例会、そして、決算がある9月定例会が終わった後に年2回行っています。その中で、過去5回は、全議員で全会場を回り行ってきましたが、昨年11月に行われた第6回からは、3班5人ずつに別れそれぞれの担当をもって、報告会を行なおうということになり、開催させていただいております。過去には、参加される町内会や色々な団体にテーマを呼びかけ、そのテーマに沿って、議会として皆さんと話し合いをしてきましたが、昨年の第6回からは、特にテーマを持たず、地域の抱えている色々な課題について、フリートークで話したほうが効果があるのではないかということで、昨年の第6回目からの議会報告会では、このような形をとっています。今回の第7回の議会報告会も、後段に懇談の時間を設け、自由討論の時間を1時間程度とっているのです。そのような形で進めたいと思います。まず、前段に昨年11月の議会報告会以降の議会の流れや動きを、この後、各担当の議員より発表させていただき、その後に、先程申し上げたように懇談をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>◎各議員自己紹介</p> <p>◎各定例会・議会改革の取り組みについて報告 古谷議員、高谷議員</p> <p>◎企業誘致や第6次産業について</p> <p>○(町民) 宮司町長が進めている企業誘致や第6次産業について伺う。道の駅に関しては、当別の産業発展のために必要だと思う。企業誘致に関しては、宮司町長以下色々なパンフレットを作り、札幌大橋が4車線になりアクセスは良くなったが、新聞なんかを見ると北海道に進出する企業は、苫小牧、千歳、恵庭、北広島の工業団地があるところに来ている。今後、企業がたくさん来る為には、お金はないが、住民として何ができるのか。議員さんと町長自ら説明してもらいたい。なぜかという、TPPはほぼ決まるから、農業が尻すぼみになることは、大多数の人が明らかだと思って</p>			

いる。どのようにしたら、方向転換していけるか。6次産業を飛躍して、色々な商売をやり、伸びていける可能性がある人もいる。「正直言って負債がありもうこれ以上できない。」という人も出てくる。そしたら、そのときに離農し他の職業に就く人もいる。こういうことも考えられるから、これはやはり離農して他の職業に切り替えるときには、国が責任を持って職業訓練を指導しないとだめだ。国鉄からJR、あるいは、昭和42年に炭鉱から石油に切り替わるときに、鉄道は清算事業団を10年おき、給料も全部出し、その間に職業訓練を受ける。これも国がお金を出す。そういう充実した方向転換であるが、ずっと国鉄で働いていた人が民間に雇われ、全国で56人の自殺者がでた。ただ、農家の良いところは、何でもできるよに子どもの頃から育てられてきたと思う。政府が職業訓練をどんどん誘致すると、どんな方面でもできるし、当別の農民はそんな力を持っていると思う。企業誘致のためのインフラ整備のために、議会で太美駅の周辺開発。あれは確かに道路が狭い。企業誘致で、札幌から太美に入ってくる。あるいは、スウェーデンハウスが買いたくて見に来る人には、太美駅の道路を広げるような大胆な改革をしてもらいたい。町の入口だから、よそから来て、当別で工場を持ちたい、何かをしたいというときにやる気がなくなるようではどうしようもない。議員さんが総力をあげ、バックアップしてもらいたい。皆さんそれだけの余力があると思う。

○（議会） 話の途中だが、後段に色々なテーマを話す懇談があるので、企業誘致と6次産業化について、後ほど話をまとめていただき、言っていただきたいと思う。

◎平成28年度予算について

○（町民） 一つ目は、企業立地促進事業、僅か80万円だが、この事業の内容は。次に、当別町イメージキャラクター推進事業の103万円だが、この内容は。最後に、社会体育施設等指定管理事業で、メリットをどのように捉えているのか。

○（議会） 企業立地促進事業について、非常に少ない予算だが、どのような内容かということだが、企業誘致に執行側が非常に苦慮している。今年度は、JRと商工会の3つが連携し、アイデアを持ち寄り、企業誘致を考えていこうということで、3者が会議を行うものである。次に、当別町イメージキャラクター推進事業は、とべのすけが町内外でだいぶ認知されるようになり、色々な物産展などに出かけていくときに、とべのすけを持って行き、PRに励むための事業である。最後に、社会体育施設等指定管理事業のメリットは、端的に言うと社会教育施設に派遣されている職員が、本庁に戻り他の業務を行うことができ、実質的に、職員が増えるということである。

◎議会改革について

○（町民） 通年議会について、前から議論されていることは承知しているが、このメリットは。

○（議会） 通年議会を行うことで、常に議会の召集が可能である。議会を召集するには、一般的に、何日前までに召集してというような手続きをとるが、通年議会だと、

いつでも召集できる。委員会も議会が開会している状態なので、その都度できる。例えば、議員が研修などでどこかへ行ったときに怪我や交通事故があったときでも、議会中であるため保険が適用になるとか、そういうことで通年議会をやっているところもある。白老町さんとか、福島町さんは、そういった意味でやっているが、我々がなぜ踏み切れないかという、今言った内容ともう一つ、そういう形を取らなくても、実際、我々はこれまで困ったというようなことがないということもあり、積極的なメリットはどのようなものか、色々な議会でも実施する中で検討したほうが良いと考える。実際やっているところは、「通年にして不都合なことは何もない。」というくらいのものである。今足踏みをしている。地方制度審議会では、どんどんやってくださいということで政府からのお墨付きがあるが、なかなか踏み切れていないというのが、各自治体の現況であり、私どもも同じ状態である。

○（議会） 通年議会になると、理事者側も常に対応できる体制を持っていないとだめだということで、そういう負担も生じるのかなと思われる。

◎当別町再生可能エネルギー活用推進条例について

○（町民） 当別町再生可能エネルギー活用推進条例は、まだ出来ていないのか。

○（議会） 出来た。これは、いわゆる理念条例であり、当別町の再生エネルギーについては、どのような方向で考えていこうかという理念を定めた条例である。既に取り組んでいるエネルギー事業としては、総合体育館の太陽光パネルや白樺コミュニティーセンターのペレットストーブなどがある。

○（町民） 太陽光パネルを設置したときに、補助金が無理なのであれば、固定資産税を半減するとか、何らかの優遇措置をとっても良いのではないか。これは、議会さんのほうで検討してみてください。それと当別には、いろいろな強みがある。道民の森を抱えている。そこに寄宿舍があるとすれば、当別にお金がないなら、国か道にお金を出してもらい、キャンプ場や子どもの研修所に太陽光を設置して、まず子どもたちにそのような教育を行うことも可能だと考える。既に推進条例ができたにしても、もっと良い方向、もっと発展する方向に切り替えることも可能だし、そうすると我々労働者の雇用の場が増える。それと、出来た太陽光エネルギーを地産地消で使うような工場の誘致を頑張ってもらいたい。

○（議会） 今の話しについては、先程も申し上げたように懇談会の中でさらに深めて答弁していきたいと思う。

◎議会報告会について

○（町民） 今回の新規の案件は、目的と狙いがあり新設されたと思う。説明は、前回よりも工夫されたと感じたが、例えば、妊娠・出産相談支援事業新規で290万ついているが、これをなぜ取り上げるに至ったのか。誰がどんなメリットがあって、この290万の事業に取り組むことによって、実はこんなことがきちっと出来るようになるのか、ということが我々聞いている側にとって、それは確かに新規で取り組む必要が

あるなどか、もう少し伝わるようなご説明をしていただければ分かりやすい。前回は申し上げたが、町民に、この議会報告会で何を伝えたいのか。施策をする結果として、誰がどんなことを享受するのか、推進するのか、運営するのかというところをもう少し言葉を添えていただければありがたい。これは、次回からで結構である。私としては、施策をすることにより、その結果どうなるのかが知りたい。

○（議会） 今のお話は、非常によく分かる。実際、これは議員がやることではない。この後、町政懇談会があり、これらは理事者側が提案してきた事業なので、我々は、事業を提案する立場では、本来ない。自分たちで事業を作って出すということもできるが。今、言われたようなことについては、今せっかく聞いていただいたから、我々はこのように判断して賛成をしたと説明はできる。だから、次回ではなくて、今回でも全然構わない。議会報告会自体のあり方が、前回は言われていましたが、我々としては、87億の一般会計の予算を承認した。この予算を立てたことによって、何がメリットかなど、我々も委員会の中で質問している。町民の方と全く同じ立場で。聞いていただければ、そういうことについては、我々は答えることが出来るということが、この報告会の趣旨であるから、是非とも聞いていただきたいと思う。次回からではなく、今回からでも出来る。

○（議会） 何のためにこの新規事業をやるのか、我々議会としてもそれを理事者に問い質してから、賛成している。妊娠・出産相談支援事業とか各小学校の英会話指導助手配事業とか、何のためにするのかは書いてある通り、一言で言えば「未来を担う子どもの育成」が理事者側の目的である。我々も住民の方も同じで、それぞれ委員会の中で提案してくるものに対しては、そのような気持ちで聞いている。

○（町民） すべからくではなく、聞きたいのはメッセージである。「こういうところで、議員さんとしては共感した。だから決議をした。」という議員さんとしてのメッセージがあるから決議したと思う。すべからくではなく、議員さんとしての役割としてのメッセージがあれば、「なるほど、そうゆうことなんだ。」と思うことができる。強弱をつけて説明してほしい。もう少し、メッセージがほしい。

○（議会） 説明も申し訳なかった。この事業についても新規事業で、当別町において、出生率も全道・全国一低い。何とかしなければならぬということで、色々な事業がある。その一つとして、安心して子どもを生んでもらえるよう手助けとして事業を盛り込んできている。

○（議会） 乳幼児等医療助成事業は、出席議員から説明していただきましょう。

○（議会） 前段の方が話したように、一つ一つ決議するわけだが、皆さんにそのように伝えなければならないのだと勉強になった。出産の方の事業は、皆さんが子どもを生んでから子育てをしていくまでの間、また、不妊治療とか色々な面とかで同僚議員も一般質問していたが、当別町は管内でも最低の出生率で、子どもを生み、育て、育てていくということに関しては、なかなか充実していない部分があるという意見もあった。この事業は、訪問し相談にのったりだとか、そういうことも含まれている。安心して、何でも相談して、育てていけるということで、私も賛成させていただい

た。乳幼児等医療助成事業は、医療の拡充で、南富良野だとかは大学生まで医療費が無料であるとか、地方に出ても富良野の方で無料で医療が受けられるとか様々な自治体があるなか、当別町は札幌の近くで、当別町を選んでもらう、医療が充実しているという玉がなかった。もう一つは、立替払いについてだが、乳幼児が病院に行きたくてもお金がなかったら行けない。我慢していたお子さんもいたというお話があった。この事業は、立替払いを廃止し、どこの病院に行っても立替払いがないということと、通院はちょっと出来ないが、高校生まで入院が無料というような拡充ができることとなった。課税、非課税を取り払い小学生まで通院も無料である。そのようなこともあり、賛成させていただいた。もっともっと、当別に来たら子育てがしやすいという若い世代が、どんどん子どもを生み育てられる環境になったらと思い、賛成させていただいた。

○（議会） 先程の太陽光について町が助成するような制度はできないのかなどの要望は、要望として受け止めさせていただきたいと思っている。これまでの議会報告会でもそうであったが、皆さんからいただいた要望については、こちらのほうで整理させていただき、議会だよりの特集号で、これまでも報告させていただいているので、今回の議会報告会についても、この後まとめて、皆さんに報告していきたい。行政側に伝えるべきことは伝える。そして、議会で協議してできることは、議会の中で協議し、結論を出していくという方針である。今、意見が出ているように、こうしたらよいのではないかという意見や町内会の中で困っていることがあれば、ご意見いただければお受けしたい。

【懇談会】

◎町内会街路灯LED化事業について

○（町民） 平成 28 年度予算にも載っている街路灯の関係で、LEDに変更しようという町内会が結構ある。町からの補助率が2分の1であるため、町内会負担も2分の1である。町内会の予算もあるので、一気に替えられない。町内会としては、電気代を安くするために、LED化するわけだが、できるだけ早くやればやるほど元が取れると私は解釈している。町の補助金もLEDに替えることによって、負担が少なくなると思う。そのため、町の補助を70%に引き上げ、長い期間で改修するよりも町内会としてメリットがあり、町の負担も減ると考えるので、是非平成 29 年度予算に検討していただければと思う。

○（町民） 対雁町内会も3年前からLED化している。今年の3月、町の職員から「28年度は50%で補助が確定した。」と話しがあり、「来年以降、29年度、30年度は、LED化する予定はありますか。」と聞かれたので「予定しています。」と答えた。そのときに言われたのが、「29年度、30年度は、町の予算がどのようになるか分からないから、50%確保できるかどうかは分からない。」と言われた。町内会では、3年計画や4年計画などの計画を立てているのに、その計画が狂う。補助が50%でも70%でも構わないから、予算をどっつけ、申請書を出したときには、そのような言葉を

聞かなくて済むようにしてもらいたい。

○（議会） 私は、栄町に住んでいる。栄町の総会で、この議論が出た。たぶん栄町が一番進んでいて、電気代がみるみる下がった。特に、栄町は、国道沿いに300ワットの水銀灯があり、いち早くやらなければならないということでやった。110何万かの電気代が一変に56万になった。町の考え方としては、それだけ電気代が下がったら、1年、2年町内会も努力していけば、それに見合うだけの電気代が下がるということで2分の1という形を維持している。エネルギーを大切にするという意味からも良い事業で、条例を作った理念に基づき、今後も続けていけると私は考えている。皆さんのご意見を町にしっかりと伝える。

○（町民） 今のことに関連して、工事の上限が60万円で、その50%の30万円しか補助が出ない。これをやっているとなん年もかかる。防犯、防災も含め、このようなことから言うと町内会で負担させるのが、そもそもおかしいと思っている。もう少し、行政として主導をとり早く終わらせると、町内会費も他に使えるので、議会として取り上げていただきたい。

○（議会） この問題は、町が財政難になったときに補助率を下げた。70%くらいのときもあったと記憶している。だんだん下がってきて、また50%まで復活したという経緯があったと思う。この街路灯の新設工事は、行政側としては、前の年に町内会の意向を聞き、どれくらい次年度改良する予定があるのか、それに見合った予算を今年度も3,352千円つけている。確かに今言われたように、補助率を上げ、全部LED化を進める方向が良いと、ここにいる議員も皆そう思っていると思う。是非、そのような形になればと思う。補助の上限総額も上げるような検討をすべきだと思う。

○（議会） 町内会のLED化については、町が、エネルギー条例を作ったという大前提があり、LED化することによる町内会としてのメリットも大きいと考える。ただ、提案者・執行部は、ここにはいないので、すぐに答えることはできないが、しっかりと受け止めてこれからの活動の一つとして捕らえていく、あるいは、発言していく。

○（議会） 町で電気料が実際にはどれくらい下がるかというような資料もあるので、町内会で検討しながら計画を立て、行政側に持って行っていただければ、対応できる話だと考える。

○（町民） たくさん持って行きたいが、50%が70%になれば、いっぱい持っていきける。そうならないと持っていけないので、よろしくお願ひしたい。

○（町民） これに関しては、メリットが非常に大きいので、今のやり方ではなく、町が主導をとり、資料を町内会から逆に出させて、検討して、「3年で終わらせろ。」とか「5年で終わらせろ。」とか、そういう取り組みをしていただけると助かる。各町内会も計画を立てながら行っている。貴重な町内会費を出してもらっているのに、補助金の上限の範囲内でやらざるを得ない。町内会から資料を出させて、見直していただければ助かる。

○（議会） 貴重な意見だと思う。これを持ち帰り、議会報告会の報告書を協議する

材料にしたい。

◎幼・保教育について

○(町民) 私は、去年、子ども読書推進計画の座長をした。幼児から中学校まで、「どのように読書力を上げ、考える力をつけるのか。」というプロジェクトである。夢の国幼・保育園がどのような経過で委託されたか承知してないが、出生人口が50人をきる町で、この幼・保育を第三者に委託していることが、全く筋違いだと思っている。50人をきる子どもたちを当別に誰一人住んでいない園長と職員に任せていることは、非常にナンセンスなことだと思う。子ども読書推進計画のときに、夢の国の園長もいた。これだけはお伝えしたい。当別から寄贈した絵本が8千冊から1万冊ある。バックヤードに寝ている。園児には貸し出さない。「なぜですか。」と聞くと「業務が増えるので、そういう本は貸し出さない。」。そこで「私がボランティアとして1時間、園児が帰る時間に、我々がボランティアとして責任をもってやりましょう。」と申し入れをしました。幼稚園には第三者を入れたくないということでノーでした。こういうことは、今まで子育て支援課も承知してる。町の意向がなかなか通らない。どんな経緯があったかは分からないが、当別で生まれた子どもたちを札幌の業者に委託している。大事な育成の期間を。そのことについて、あまり声が挙がってこないことが不思議ではない。即刻、町営に切り替えるべきだと思っている。私のエコアパートに、札幌から1歳と3歳の子を持つ母親家族が転居してきた。札幌よりも管理がきつい幼・保育園である。折角、当別に越して来たのにこんな管理の厳しい幼稚園であれば、越してきた甲斐がないと知来乙の子どもを預かる施設に入れてしまった。当別らしい幼・保育のあり方があるはずである。車も少ない、人も少ない、自然も近い。彼らは、親からのクレームを恐れ、怪我を恐れ、要は管理、管理、管理。今、モンスターペアレンツが多いので、出来るだけ怪我をさせないように、出来るだけクレームがでないようにという管理、管理になる。そういう実態があるということを押さえておいてもらいたい。「当別で生まれた子をどうして第三者に委ねているのか。」ということに対する問題意識を私は強烈に持っている。幼・保育のときに、日本語を獲得させることが大切。今は親もゲーム世代。読み聞かせのボランティアをやって、小学校に上がる5歳の子の読み聞かせをやっているときに、「お父さんと絵本読む？」と聞くと、「お父さんは、家に帰ってきたらゲームばかりだ。」と言う子もいる。お父さんはゲーム世代で、お母さんはスマホで子どもあやしている。今は、こういう子育て環境だ。メディアや新しいゲーム機がどんどん入ってきている。それをブロックして、日本語を獲得する大事な時期に、町としての意向が入らないことは、すごく重く捉えていただきたい。今年1年かけて、本当に委託することが適切なのか、もう一回我々の手で、幼・保育小中一貫くらいの考えを持ってやるべきではないのか。おそらく、50人の新生児だと経営が成り立たなくなってくると思う。早く役場のほうから「もう一度責任を持って町がやります。今までありがとうございました。」と声を上げていただきたい。そうしないと、幼・保育時代に大事な考える力を作ることは、言葉の獲

得。日本語の獲得をどうさせるかは、地域の問題であって、幼稚園や園長や先生や親だけの問題ではない。子どもの読書推進をやればやるほどあそこはブレーキになる。残念ながら。早く町が取り戻すということをやってもらいたい。

○（議会） 感想を言わせていただく。皆さん色々な子育てに対しての考えがあると思う。確かに、絵本とか本を読むことは大事だと思う。子どもで本が好きな子は、ことごとく親も本を読んでいる。つまり、本を読んでいる親を見て子どもは育っている。子どもの環境は、育ってきた小さいときの環境が非常に大切だと思う。そういうことから考えても、今の管理されているやり方が良いのかどうか。逆に言えば安全性を第一に考える方が良いのかどうか。議論しないといけないこともあると思う。長野県のある私立幼稚園に、五感を大事にする教育をやっている幼稚園がある。自然の中で、色々体験し、五感を磨かせている幼稚園がある。そこにゲームメーカー大手の社長が長野県に移住した。移住してまで、子どもをそういうところで育てたいというのは、その方が自分はIT関係で育ってきた人間なのでプログラムの勉強はいいとしても、プログラムをどうやって表現していくかが大事だと考えたからである。逆に言うと、人間の五感は、「10歳までに育てないと思考が止まってしまう。その10歳までが勝負だ。」と持論を持ち、幼稚園の考えに賛同し、移住した。そういう考えの幼・保教育もある。一方で、本で人間を育てる幼・保教育もある。色々な教育があり、色々なところで皆さんと協議し、考えをすり合わせ、何が当別にとって優位性のある幼・保教育かを考えていくことが必要だと思っている。当別の優位性とは、自然があるので、そういうことも含めて、札幌と同じような幼・保教育が良いのか、もっと個性を磨くような教育が良いのか、色々なところで議論しながら作りあげていくのがこれからの一つの方向性かなと思う。

○（議会） 幼・保についてのご意見をいただき、それに対する感想を述べさせていただいている。議会報告会は、3つのグループで開催しているが、各議員の意見は、原則言わないということがある。司会の裁量に任されているので、今のは、意見ではなく、感想ということなので、個の議員の感想をいただいたということで、御理解いただきたい。他に感想があればどうぞ。

○（議会） 感想ですが、「ふくろう図書館で本を借りて帰ってくる。そこでは、借りられないので。」とお聞きしたことがある。先程、「ボランティアでやりましょう。」と言ったときに、それがノーであったことは、初めて聞いた。うちも当別幼稚園だったので、そこで本を借りて来ていた。ふくろう図書館まで行って借りて帰ってくると聞いて少しびっくりした。この件に関しては、検討していくことが大事だと思うので、考えていきたい。

○（議会） 非常に貴重なご意見をいただいた。50人の出生数は、全国最低レベルである。当別の将来も大変なことになる。子どもたちは、当別の宝であるから、良い方向を目指して前進していかなければと思う。

○（議会） ご提案されたことなどは、持ち帰り検討させていただきたい。先程言われた、「日本の言葉を大事にする。」ということがありましたが、今、幼児教育の中に、

英語をどんどん入れようと言うことに対し、日本中で真っ二つに分かれている。小さい子どもに、「日本語と英語を一緒に教える必要は絶対はないんだ。」と主張する方と「将来のことを考えると英語が必ず必要になる。」と言う方と。私は、教育者の中では、「いない。」と言う人の方が多いと思う。そういうことも、これから我々も研修を積んで、大澤さんが心配しているような方向にはならないように、しっかり皆さんで研究していきたいと思っている。今日は、本当に貴重な意見ありがとうございます。

◎街づくりについて

○（町民） 本通商店街は、建ぺい率も容積率も適用されていない時代の密集した商店街である。当別にも活断層があるから、やがて地震に伴い、火災が起きるのは目に見えている。人口が減る中でコンパクトシティができないのか。人口が減っていく中で、町のニュータウン作りはどのようになっていくのか。

○（議会） 議会として、答えることは難しいが、町政懇談会とかで聞いてもらいたい。町長の構想には、今言われたことが入っていると思う。実現に向けてやっていただきたいとは思いますが、なかなか我々の立場では、すぐにやりますということにはならないが、そういう意見があったことは伝える。

◎排雪について

○（町民） 私は転勤族で、ずっと当別町にいる人は気付かないかもしれないが、23年前に当別町に入ってきたとき、列車に乗っているとすごく石狩平野が広く、冬になると真っ白で遠くまで見えてすごく気持ちがよく、当別に来て本当に良かったと思っている。とても当別町を気に入っているが、冬の雪が大変であるため、もう一回くらい排雪の回数を増やしていただければと思う。

○（議会） 排雪の要望や私たちが気づきにくい町の魅力をいただきましたので、是非参考にしていきたい。

◎議会中継について

○（町民） 議会中継のことで、画像が悪いのでどうにかならないのか。

○（議会） 議会費を抑えている関係で、無料配信をしているところだが、機材を充実したらもっとみやすくなる。また、録画もできないが、議会で録画しているので、興味がある方には、貸出しできるので言ってもらいたい。議会の予算を少しつけていただいて、機材は少しずつ替えてはいるが、今後検討させていただきたい。

◎閉会

○（島田副議長） 今日遅くまで残っていただき、皆様からいただいた貴重なご意見、質問、要望等色々ありました。これを、町に要望する件、また、町から回答をもらい皆様にお伝えしなければいけない件、そして議会で取り組まないといけないだろうと思われる件、色々これから持ち帰り、議会全体で協議し、またこの報告を議会だより

や次の議会報告会など、色々な場面を通して、皆さんフィードバックしていきたい。次回は、11月にもう一度行いますので、そのときには今日のように参加していただき、要望や意見を議会の方に言っていただければ幸いです。長時間に渡り、貴重なご意見いただきまして、本当にありがとうございました。以上で第7回の議会報告会を閉じたいと思いますが、最後に、閉会のご挨拶を前議長の高谷議員よりお礼のご挨拶をさせていただきます。

○（高谷議員） 長時間ありがとうございました。我々としても大変貴重なご意見をいただいたと思います。我々は、当別町に住んでおりますので、何かありましたら呼んでいただいて、皆様のお話を聞くことができますので、今後とも議会報告会を楽しみにしていただいて、ご参加いただきますようお願いをしまして、会の終わりの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。